2014 年 6 月 5 日

研究グローバル化特別対策室

第12回工学部国際交流フォーラム「Ginga Lecture」実施報告

工学部研究グローバル化特別対策室では，様々な国の大学との研究交流を活発にし，さらに学生交流を推進することによって，工学部に於ける教育と研究のグローバル化を進める活動を行っております。その中の一つとして，国際交流フォーラムを開催しております。第12回工学部国際交流フォーラムを，下記の要領で開催いたしましたので，報告します。

1. 日時：2014年6月5日（木）

工学部長表敬訪問	10：00～10：30
講演会	13：00～14：00
茶話会	14：00～14：30
ラボツアー	15：00～16：30

2. 講演場所：総合教育研究棟　復興祈念銀河ホール

3. 講師：Visiting Professor X. B. Daniel Chen (ダニエル・チェン　岩手大学客員教授)
University of Saskatchewan, Department of Mechanical Engineering, Full Professor
(サスカチュワン大学 機械工学科　教授）

4. 演題：My country, my university and my profession

5. 概要：サスカチュワン大学工学部は，今年度，部局間学生交流協定の締結に向けて交渉を進めている大学である。今回，当大学から1名の先生が来訪される運びとなったことを機会に，カナダ国の文化，サス大の教育・研究事情，およびご本人の研究などに関し，講演して頂いた。チェン教授は，生体工学分野における組織工学 (Tissue Engineering) の優秀な研究者の一人である。脊髄損傷，末梢神経傷，骨関節炎等の神経系の損傷に起因する疾患で，全世界で何百万もの人々が苦しんでいる。その新たな治療方法として，スキャホールドと呼ばれる生分解性の足場を生体内へ埋め込むことで，神経細胞の再生が試みられている。本講演では，同氏の研究優れた成果の1つとして，脊髄損傷の動物実験モデルに3Dプリンタで製作したアルギン酸スキャホールドを適用し，神経再生を実証したことなどについて説明がなされた。

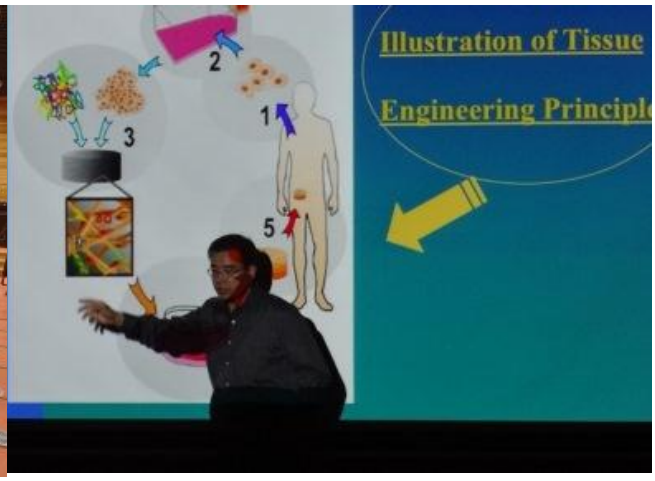
船崎健一工学部長への表敬訪問





銀河レクチャー





ラボツアーの様子

